

# 12月22日議会

## 再稼働“賛成多数”で可決

# 県民の不安は置き去りに！

会派	議員数	賛成	反対
自由民主党 (議長を除く)	31	29	0
真政にいがた	3	3	0
公明党	2	2	0
未来にいがた	9	0	9
リベラル新潟	6	0	6
無所属(馬場)	1	0	1
合計	52	34	16

# 賛成34：反対16

傍聴席は満席。立ち見の人もいました。公明党・真政にいたからは「原発は国策」「安全確保は確認済み」などの理由を挙げた賛成討論が行われました。その都度、傍聴席からは「何を言っているんだ！」と、あちこちで怒りの声が上がりました。事務所で行った視聴会でも「福島の事故を忘れたのか」と声が上がりました。私はこの無謀で強引な採決に強く反対を訴えましたが、結果は賛成多数での可決となりました。私は、この他にも原発再稼働関連の議案(自民党の付帯決議案)にも反対討論をしました。

私は、あくまで知事は県民に住民投票或いは知事選で県民に対し「信事を問うべきであると考え、知事とは立場を異にします。たとえ議会に信事を問うとしても、目的に即したストレートな議案を出すべきです。

それができないのは、信任・不信任案の発案権は議会に専属し、知事が発案できないので、やむを得ず予算案にその趣旨を入れ込んだものど思ひます。つまり、知事の発言に

◆原発の再稼働を前にした原発の理解を深め、万円を支出するとの補正予算案を提出しました。私は、反対します。この予算案は、議会に対し花角知事の原発再稼働の容認の判断につき「信を問う」という目的で提出されました。しかし、予算はお金の出し入れの話であり、金に色はついていません。「信を問う」という直接の目的から随分離れていました。

決議案 私は反対します。私は、7年前の選挙で、事は、「県民の信を問う」ことを約束して当選しました。信を問うべき相手は、「県議会」ではありません。「県議会」ではあります。私は、先日の一般質問で選挙時のことを見わかれ、県議会の代表者である「県議会」も含まれると思つて、強弁する始末です。言葉をこれ以上、弄ぶのはいい加減にしてほしい。

◆花角知事の原発再稼働容認とする判断に是とする付帯決議案

3年前の県議選での原発再稼働に対するアンケート調査で、再稼働に賛成すると明言した議員は僅か3名でした。そして、現在も原発再稼働についての県民の賛否は拮抗した状態です。県議会が民意を反映しない構成になつてはなりません。

それを今になつて  
民一に県民の代表機関  
ある県議会も含まれると  
いうのでは、県民に対する  
背信であり、政治に対する  
する信頼を地に貶めたと  
議会にうり他ありません。  
も同じことがいふ

即した議案を提出できな  
いものだから、何とか計  
棟を合わせるために今回  
の予算案が提出されたと  
し考えられません。  
しかも、この事業によつ  
て認知度が高まつたかどう  
かの検証についてする  
つもりはない」と知事は明  
言しました。

# 黒場ひぐるめの活動日志

発行責任者 馬場ひでゆき  
事務所住所 新潟県上越市本町3丁目3番3  
号ダイアパレス高田武番館2階  
電話 025-546-7110  
F a x 025-546-7666  
メール kengi-babahideyuki@windocne.jp

## 原発再稼働の賛成理由

- 電力供給構造の脆弱性や脱炭素電源による経済成長機会の確保など原子力発電所は必要。
  - 施設の安全性、避難の実効性は確認された。
  - 内閣官房副長官をトップとした「監視強化チーム」が設置された（国が積極的に運営に積極的に関わってくれる）。
  - 地域経済へのメリットがある（資金拠出、雇用創出など）。

## 議会の議決で決めるについて

- 県民による投票は地域の分断に繋がるため、それを避けたかった。
  - 国からの理解要請を長く引き伸ばすのはできない。だから、県議会に信任・不信任を図る方法を選択した。
  - 様々な分野から、県議会での議決を望む声が出ていた、又、県議会でも、知事から信任・不信任の問い合わせがあった場合には議会としての意思を示す旨の決議がなされていた。

2023年1月1日に能登半島沖地震がありました。震源地付近の能登地方では、地震によつて道路は寸断、家屋は崩壊し、避難することができなくなりました。上越市でも、

福島第一原発事故のような過酷事故が起きれば、大量の放射性物質が拡散して、住民に健康被害をもたらします。原発の審査に新規制基準が導入されたから、福島事故のようなことは起こりえないと言われていますが、本当でしょか。電力会社や政府は、日本での原発は安全だと宣伝してきましたが、福島事故が起つてしまいましてから、彼らのことを信じることはできません。

■原発が安全とは考  
えられない

原発への依存は地域経済の健全成長を阻害する

で雇用を創出できる  
「再生可能エネルギー」  
は不安定だ」と指摘され  
ます。

しかし、世界では再生  
エネルギーの導入が拡大してい  
るという現実があります。原発  
による発電供給は、原発で  
安定的でしょうが、常に  
過酷事故が発生の危険を伴  
います。原発再稼働に  
かかる多額の投資金を再  
生エネルギーの開発に振  
替えるべきだと考えます。

避難する車で、国道8号、18号などは大渋滞になりました。

原発事故が地震や津波と複合して発生した場合、避難ができず、被爆します。することは確実と思いつ

電力需要が増える？

みる限り、原発が停止し、安全対策工事をしている場合には作業員数が増えますが、原発が実際に稼働するようになると減りますが、原発が稼働してしまいます。また、原発が稼働しても、県内の市と比較して経済的な伸びがあつたとは認められないこと、又、福島原発事故を受け、原発が停止した時期でも、県内の新発田市、三条市などと比較しても、地域の消費は堅調に推移しているという事実などが明らかになっています。（新潟日報12月7日「地域経済好循環もたらす?」）むしろ、地域が原発に過度に依存して、自発的な産業が育たなくなつてしまふことを危惧します。

# 私が原発再稼働に反対する理由